

# 体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

## 静岡県防災キャンプ推進事業

静岡県教育委員会

### 【事業のポイント】

- 県内4地区7か所でのキャンプ実施。
- 地域の特色を生かした防災教育・体験プログラム、避難所運営検証の実施。
- 自主防災活動推進大会での活動紹介。
- 各種広報誌等による事業成果の普及啓発。



応急救護体験

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

静岡県は、東海地震、さらには南海トラフ巨大地震発生による甚大な被害が想定されている。今後の地震防災対策では、施設・整備等の「公助」に加え、住民に対する「自助」の大切さを普及啓発し、青少年も含めた多くの地域住民が防災活動の重要性を理解するとともに、訓練による体験を通じた実践力を身に付けていくことが求められる。そのためには、学校・家庭・地域が一体となり、防災の知識、技能、発達段階に応じた避難所における役割等について体験的に学ぶ機会を設けることが必要である。

そこで防災キャンプ推進事業における体験活動を通して、青少年の防災意識や実践力を高めると共に、避難所での青少年の役割を地域の大人とともに検証する機会とする。学校は、避難所生活における施設管理者としての関わり方や、青少年への防災教育についても、あわせて検討していく。そして、このキャンプで得られた成果を、県内全ての市町、自主防災組織、学校等に、具体的なモデルとして情報提供し、より実効性の高い訓練や各種防災活動の充実・強化に役立てていくものとする。

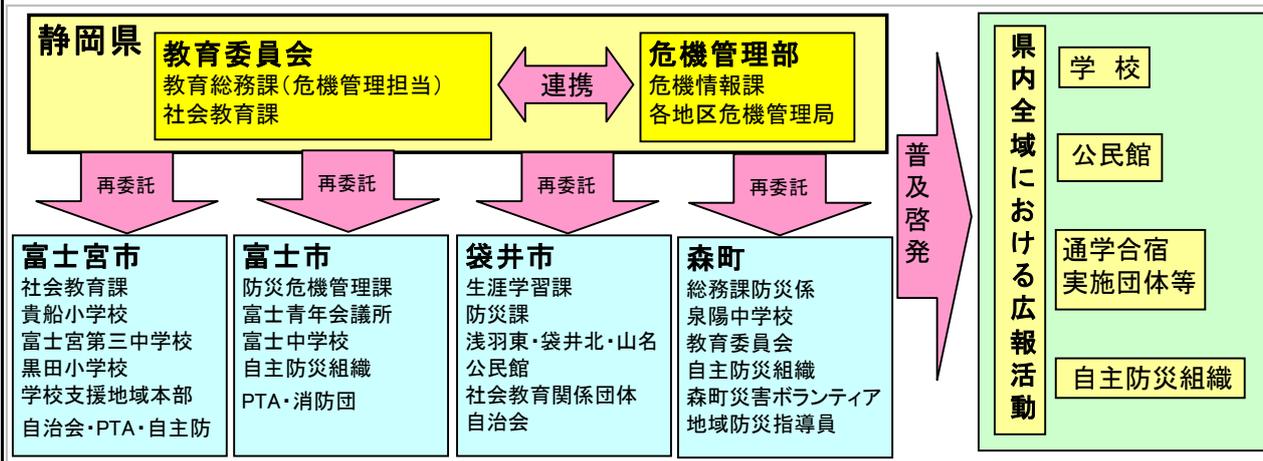
キャンプ実施地域は、普及啓発の効果を高めるため、県内東・西部地区から富士宮市、富士市、袋井市、森町を選定した。4地区では、小・中学生向けの防災教室や避難訓練を計画したり、避難所生活を体験したりする中で、命の大切さ、避難所での生活の仕方、災害発生時の小・中学生の役割等を学ぶ機会とする。

### (2) ねらい

- 各地域で想定される災害や被災時の対応等を学ぶ。
- 避難所での生活体験を通して、被災時の青少年の役割・活躍の場を検証する。
- 課題の抽出・対応の検討により、防災キャンプ実施モデルとして成果をまとめ普及する。
- 地域の関係機関・組織等との連携体制を構築し、地域の絆を深める。

## 2. 事業概要

### (1) 運営体制



| (2)開催実績                  |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 月 日                      | 内 容                                   |
| 平成26年5月～<br>キャンプ実施前      | 各地区防災キャンプ実行委員会<各地区>                   |
|                          | 参加者説明会<各地区>                           |
|                          | 防災キャンプ準備会<各地区>                        |
| 平成26年<br>6月28日(土) 29日(日) | 袋井市防災キャンプ (浅羽東公民館)                    |
| 平成26年7月～                 | 各地区防災キャンプ実行委員会<各地区>                   |
| 平成26年<br>7月22日(火) 23日(水) | 森町防災キャンプ (泉陽中学校)                      |
| 平成26年<br>8月2日(土) 3日(日)   | 袋井市防災キャンプ (袋井北公民館)                    |
| 平成26年<br>8月8日(金) 9日(土)   | 富士宮市防災キャンプ(貴船小学校)                     |
| 平成26年<br>8月9日(土)         | 富士市防災キャンプ(富士中学校) ※台風接近のため2日目中止        |
| 平成26年<br>8月30日(土) 31日(日) | 富士宮市防災キャンプ(野中三区区民館)                   |
| 平成26年9月～                 | 各地区防災キャンプ運営委員会<各地区>                   |
| 平成26年<br>10月21日(月)       | 静岡県防災推進委員会                            |
| 平成26年<br>11月8日(土) 9日(日)  | 袋井市防災キャンプ (山名公民館)                     |
| 平成26年<br>11月9日(日)        | 自主防災活動推進大会(成果報告) (プラサヴェルデ 沼津市)        |
| 平成26年<br>11月21日(金)       | 静岡県生涯学習フォーラム(成果報告)<br>(静岡県男女共同参画センター) |
| 平成26年12月<br>～平成26年1月     | 広報紙、リーフレット、ホームページ等で成果の広報              |

| (3)参加人数 |            |     |              |       |     |
|---------|------------|-----|--------------|-------|-----|
|         | 児 童<br>牛 徒 | 地 域 | 行 政<br>教 職 員 | そ の 他 | 合 計 |
| 富士宮     | 67         | 110 | 47           | 0     | 224 |
| 富 士     | 35         | 20  | 40           | 17    | 112 |
| 袋 井     | 72         | 5   | 23           | 11    | 111 |
| 森       | 54         | 62  | 54           | 0     | 170 |
| 合計      | 228        | 197 | 164          | 28    | 617 |

※その他(青年会議所関係者・ボーイスカウト指導者等)

### 3. 防災キャンプ実施概要

#### ①富士宮市防災キャンプ 平成26年8月8日(金)・9日(土): 富士宮市立貴船小学校

##### (1)運営体制

富士宮市教育委員会社会教育課、学校支援地域本部、貴船小学校、貴船小学校PTA、自治会

##### (2)実施内容

### 活動プログラム 【貴船小学校】

#### ～1日目～

- 14:00 開会式
- 14:45 防災学習①
  - 煙体験
  - 液化化体験学習
  - 防災倉庫見学
  - 校内防災マップ作り
- 17:00 夕食(非常食体験)
- 19:00 防災学習②
- 21:00 就寝準備

#### ～2日目～

- 6:00 起床
- 6:30 朝食(非常食体験)
- 8:30 救急法講座
- 8:30 放水訓練
- 10:00 振り返り  
発表会
- 10:30 閉会式

富士宮市では、貴船小学校において防災キャンプを実施しました。学校支援地域本部やPTAが運営に協力しました。



#### 液化化の体験学習

ケースに砂と水、積み木等を入れ、液化化が起きる仕組みを体験を通して理解する。



#### 防災倉庫見学

地区の防災倉庫を見学し、どんなものが備蓄されているかを知る。



#### 初期消火訓練

消火器の使い方を学び、実際に体験する。



#### クロスロード

災害時の想定外の問題に対して、「Yes」または「No」で自分の立場を明らかにし、理由を話し合う。

#### ②富士宮市防災キャンプ 平成26年8月30日(土)・31日(土): 富士宮市野中三区区民館

##### (1)運営体制

富士宮市教育委員会社会教育課、自治会、自主防、富士宮第3中学校、黒田小学校

##### (2)実施内容

### 活動プログラム 【野中三区区民館】

#### ～1日目～

- 14:30 開会式
- 14:45 防災学習①
  - 防災危険箇所探し
- 16:00 防災マップ作り
- 17:10 夕食(非常食体験)
- 19:00 防災学習②
- 19:50 災害イメージトレーニング
- 21:00 防災クイズ  
就寝準備

#### ～2日目～

- 6:00 起床
- 6:30 朝食(非常食体験)
- 7:45 八景台公園へ移動
- 8:00 防災学習③
  - 野中三区防災訓練参加
  - 防災キャンプ成果発表
- 11:00 閉会式

富士宮市では、野中三区区民館(自治会館)において防災キャンプを実施しました。地域の自主防災組織や自治会が運営に協力しました。



#### 防災マップづくり

グループに分かれて区内の危険箇所を巡り、マップにまとめる。



#### 居住場所配置体験

ダンボールを使い居住場所を作成し、参加者で協力して配置する。



#### 地域防災訓練への参加

地域住民と共に、地域防災訓練に参加する。



#### 成果報告

キャンプで体験したことや作成した防災マップの内容を発表する。

③富士市防災キャンプ 平成26年8月9日(土): 富士市立富士中学校

(1)運営体制

富士市防災危機管理課、富士青年会議所、富士中学校、富士市消防本部、自衛隊、自治会

(2)実施内容

活動プログラム  
【富士】

～1日目～

- 9:00 災害基礎講座
- 10:00 自衛隊講話  
被災地活動報告
- 11:00 防災資機材講習  
発電機体験  
チェーンソー体験  
テント設営体験  
仮設トイレ設置体験
- 12:00 昼食(炊き出し)
- 13:00 シロクマ作戦
- 14:00 消防・自衛隊研修  
応急救護訓練  
心肺蘇生訓練  
ロープワーク訓練
- 17:30 体験レポート作成
- 17:50 閉会式

富士市では、市内各地から中学生が集まり、防災キャンプを実施しました。テント設営や仮設トイレ設置体験、心肺蘇生法など、様々な体験をしました。



**消火放水訓練**  
消防署員の指導を受けて、放水体験を行う。



**応急救護訓練**  
三角巾を使って、応急手当の方法を学ぶ。



**食料配給体験**  
役割を分担し、手際よくカレーライスを配給する。



**防災機材講習**  
チェーンソーの使い方を学んだり、テント設営を行ったりする。

④袋井市防災キャンプ 平成26年6月28日(土)・29日(日): 袋井市立浅羽東公民館

(1)運営体制

袋井市教育委員会生涯学習課、防災課、社会教育関係団体、自治会

(2)実施内容

活動プログラム  
【浅羽東公民館】

～1日目～

- 13:00 開会式
- 14:00 初期対応訓練  
家庭内DIG  
避難時の持ち物
- 15:00 避難所設営
- 17:00 夕食(非常食体験)
- 19:00 防災講話
- 20:30 ロープワーク体験
- 21:00 夜間避難訓練
- 21:30 就寝準備

～2日目～

- 6:00 起床
- 7:00 朝食  
ホットドック作り
- 8:30 応急手当講座
- 9:30 避難所撤収
- 10:45 まとめ・閉講式

袋井市では、浅羽東公民館や隣接するコミュニティー広場において、防災キャンプを実施しました。地区のボーイスカウトの指導者が中心となって運営に協力しました。



**家庭内DIG**  
地図を囲んで、家庭内での災害時の対応策や地震が起きても自分の家で暮らす方法を考える。



**ロープワーク体験**  
ボーイスカウト指導員から、ロープの結び方やつなぎ方を学ぶ。



**初期対応訓練**  
避難時に必要な物をリュックに詰め、重さを体感する。

⑤袋井市防災キャンプ 平成26年8月2日(土)・3日(日):袋井市立袋井北公民館

(1)運営体制

袋井市教育委員会生涯学習課、防災課、社会教育関係団体、自治会

(2)実施内容

活動プログラム  
【袋井北公民館】

～1日目～

- 13:00 開会式
- 14:00 初期対応訓練  
家庭内DIG  
避難時の持ち物
- 15:00 避難所設営
- 16:00 起震車体験
- 17:00 夕食(非常食体験)
- 19:00 防災講話
- 20:30 ロープワーク体験
- 21:00 夜間避難訓練
- 21:30 就寝準備

～2日目～

- 6:00 起床
- 7:00 朝食  
ホットドック作り
- 8:30 応急手当講座
- 9:30 避難所撤収
- 10:45 まとめ・閉講式

袋井市では、袋井北公民館や隣接するコミュニティー広場において、防災キャンプを実施しました。地区のボーイスカウトの指導者が中心となって運営に協力しました。



**非常食体験**  
牛乳パックを使ったホットドック作りを体験する。



**傷病者搬送訓練**  
身近にある毛布と棒を使い、けが人を運ぶ体験をする。

⑥袋井市防災キャンプ 平成26年11月8日(土)・9日(日):袋井市立山名公民館

(1)運営体制

袋井市教育委員会生涯学習課、防災課、社会教育関係団体、自治会

(2)実施内容

活動プログラム  
【山名公民館】

～1日目～

- 13:00 開会式
- 14:00 初期対応訓練  
家庭内DIG  
避難時の持ち物
- 15:00 避難所設営
- 16:00 起震車体験
- 17:00 夕食(非常食体験)
- 19:00 防災講話
- 20:30 ロープワーク体験
- 21:00 夜間避難訓練
- 21:30 就寝準備

～2日目～

- 6:00 起床
- 7:00 朝食  
ホットドック作り
- 8:30 応急手当講座
- 9:30 避難所撤収
- 10:45 まとめ・閉講式

袋井市では、山名公民館や隣接するコミュニティー広場において、防災キャンプを実施しました。地区のボーイスカウトの指導者が中心となって運営に協力しました。



**起震車体験**  
実際の地震の揺れを体験し、身を守るための方法を学ぶ。



**災害への備え**  
危機管理局職員から地震の仕組みや災害への備えや災害時の対応等を学ぶ。



**テント設営体験**  
参加者が協力して広場に宿泊用のテントを設営する。

⑦森町防災キャンプ 平成26年7月22日(火)・23日(水):森町立泉陽中学校

(1)運営体制

袋井市教育委員会生涯学習課、防災課、社会教育関係団体、自治会

(2)実施内容

活動プログラム

【森】

～1日目～

- 13:15 避難訓練
- 13:30 開会式
- 14:00 体験講座  
煙体験・応急救護訓練  
自衛隊装備品見学  
電気と原子力について
- 16:30 夕食(炊き出し)
- 18:30 防災講演会
- 20:00 居住スペース作り
- 22:00 就寝

～2日目～

- 6:00 起床 ラジオ体操
- 7:00 朝食(非常食体験)
- 8:30 防災教育講話
- 9:45 図上訓練  
HUG訓練
- 11:00 振り返り
- 11:30 閉会式

森町では、泉陽中学校の生徒全員が参加し、防災キャンプを実施しました。毛布と竹を使った簡易担架訓練や避難所運営ゲームなど、様々な体験をしました。



避難所運営ゲーム(HUG)  
避難者が抱える事情を書いたカードを避難所に見立てた平面図に適切に配置できるか模擬体験する。



防災講演会

演題:自然災害と防災対策について  
講師:谷渡 直樹 氏  
(静岡地方気象台観測予報管理官)



避難所設営体験  
発電機の使い方や投光器の組み立て方などを学ぶ。



自衛隊装備品の説明 見学  
装備品の使用方法や装甲車の説明を聞く。

4. 普及啓発の実施概要

○11月9日(日):自主防災活動推進大会(プラサヴェルデ 沼津市)

・パネルによる防災キャンプ実践報告と概要説明 ・防災キャンプリーフレット配布



パネル展示



防災キャンプの概要説明

○11月21日(金):静岡県生涯学習フォーラム(静岡県男女共同参画センター)

・パネルによる防災キャンプ実践報告と概要説明 ・防災キャンプリーフレット配布



パネル展示



防災キャンプの概要説明

- ホームページによる事業紹介
- 広報誌等による普及啓発
  - ・防災キャンプ推進事業リーフレット
  - ・静岡県公民館連絡協議会情報誌「たちばな」第194号
  - ・静岡県教育委員会教育広報誌「Eジャーナルしずおか」第145号
  - ・「災害に備える知恵」満載の情報紙「自主防災新聞」No.89 等

## 5. 成果と課題

### (1) 事業成果

#### 【児童・生徒】

- 災害に備え、ふだんから家族や友達と話し合うことが大切だと感じた。
- 防災キャンプで学んだり、体験したりしたことを友達や家族に伝えたい。

#### 【地域住民・保護者】

- 小中学生は、地域防災の担い手であり、防災キャンプで学んだことを災害時にいかしてほしい。
- 家庭での防災に関して真剣に考えるきっかけとなった。

#### 【行政・運営者】

- 防災キャンプを通して、子どもたちや地域の防災力が向上した。
- 大人や子ども、行政や地域が一緒になって考え、協働してキャンプを実施するのは、有意義である。
- 自主防災会・学校・PTAが連携した地域防災の必要性を再認識できた。

### (2) 事業運営上の課題・留意点

#### 【プログラムについて】

- 児童・生徒、地域住民など様々な年齢や立場の人が参加するので、どこに照準を合わせるのか難しい。
  - ⇒体験的な内容と学習的な内容のプログラムのバランスをよく計画する必要がある。
- 児童、婦人会、自主防災会等の中で、参加者の交流ができるようなプログラムを実施したい。
  - ⇒各機関等との事前の共通理解や協力体制構築、役割分担を明確にしておく必要がある。

#### 【運営面について】

- より多くの児童・生徒に防災キャンプに参加してもらうためには、実施時期をいつにしたらよいか、またどのように広報するべきかを考えたい。
- 運営側の横の連携をどのように進めるかを考えたい。
  - ⇒行政・地域・学校などの関係機関が防災キャンプに対しての共通理解を図り、一体となって事業を企画・運営するための話し合いを十分に持つ必要がある。

### (3) その他

来年度、県内5地区(新規3、継続2)で防災キャンプ推進事業の実施を予定している。また防災キャンプ推進事業に類する防災教育推進事業を独自に実施する予定の市町もある。防災キャンプの成果を引き続き広報していくことで、近隣地区に活動が広がり、県内のより多くの市町で同様の取組が実施されていくことが望ましいと考えている。

## 6. 団体プロフィール

### 静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601

静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL : 054-221-3123

FAX : 054-221-3362

E-Mail : kyoui\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp



Shizuoka Prefecture